



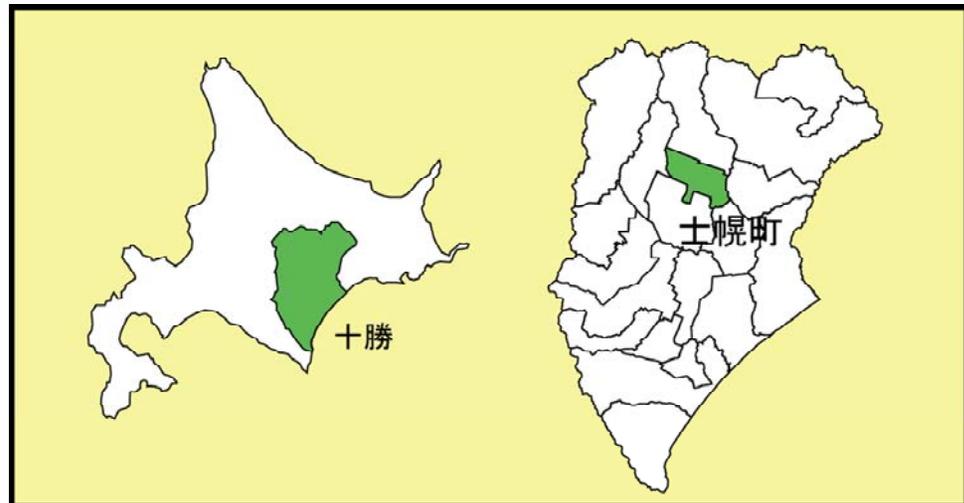
家畜排せつ物系バイオガス 利活用の取り組みについて

- 土幌町産業振興課 鈴木典人



士幌町の概要

- 人口 約6,600人
- 面積 259.13km²のうち約60%が耕地化利用
- てん菜、ばれいしょ、小麦、豆類等を基幹作物とした大規模畑作
- 最新技術を導入して多頭化の進んだ酪農畜産業





バイオガスプラント位置図





バイオガスプラントの必要性

- ・ 地域資源活用による農村環境の改善
- ・ 牛の多頭飼育化（H22.4現在、乳牛19,000頭、肉牛49,000頭）による
 - ・ ふん尿問題 家畜排せつ物法の施行による適正な処理
 - ・ 飼育頭数の拡大 スタンション（繋ぎ飼）からフリーストール（放し飼）へ





バイオガスプラントの必要性

- ・ 環境保全・再生
 - ・ 臭気防止、たい肥化が難しい。衛生上の問題
- ・ フリーストールのふん尿処理が特に問題





バイオガスプラントの必要性

- ・ 産出されるメタンガスを電力・熱に還元し、CO₂の排出を抑制
- ・ 農産物のブランドイメージの向上
- ・ 発酵消化液の活用 化学肥料の節減
- ・ ふん尿処理に要する労働力の負担軽減





佐倉地区余剰ガスの利活用

- ・ H15年当初飼育頭数 250頭
現在 550頭以上となり余剰ガス増加が見込まれる

何とかこの余剰ガスを利活用できないか？

- ・ 町の温泉施設「しほろ温泉プラザ緑風」に、余剰ガスを精製圧縮して運搬し、発電・排熱利用する施設整備を今年度事業で実施中